

How to 産業保健 No,7

メンタルヘルス対策のすすめ方
—ステージ別実践法—

著者：藤代一也(福岡産業保健推進センター)
発行：産業医学振興財団
定価：1,600円



本書が読者対象に設定しているのは、主にはこれから本格的にメンタルヘルス対策に着手しようとしている、あるいは対策を始めてはみたが途中で足踏みをしている職場の関係者であるように見える。しかし、実際には、すでにまとまった活動を行っている産業医や看護職がこれまでを振り返り、取組みの方向性や考え方が妥当であったかどうかを検証するのにも格好の内容になっている。むしろそうした使い方によって、本書の持ち味がより生きてくるのではないかとも思われる。むろん、平易な語り口で、事例も適度に盛り込まれており、用語の解説 (notes) も

行き届いているため、初心者が読んでも大変役に立つ。要は行間を読むに値するということである。

著者は、現在大企業の産業医を職としているが、長くさまざまな業種の中小企業の産業保健にも携わってきた経歴を持つ。そうした豊富な経験が行間に生きている。本書に導かれてメンタルヘルス対策の在り方を考えていくと、産業保健全体をどうするかという思慮に行き着く工夫もされている。

本文にして70ページ足らずの分量である。手の届くところに置き、あるいは持ち歩いて、繰り返し玩読されることを強くお勧めする。

(廣 尚典 産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学)

新刊図書のご案内

治療と仕事の「両立支援」
メンタルヘルス不調編

—復職可判断のアセスメント・ツールと活用事例 20—

著者：小山文彦(独立行政法人労働者健康福祉機構
本部研究ディレクター)
発行：労働調査会 定価：2,100円



メンタルヘルス不調の方々が、治療をしながら働くために有効な「両立支援」とは？「両立支援」のために本人と産業保健スタッフ、管理監督者、家族、主治医等との望ましい連携や支援のためのアセスメント項目について事例を交えて解説。

「腰痛持ち」を
やめる本

著者：松平浩(関東労災病院勤務者
筋・骨格系疾患研究センター
センター長)
発行：マキノ出版
定価：1,365円

「腰痛とは一生のつきあい」とあきらめている方へ。簡単な習慣を日常生活に取り入れれば、趣味やスポーツ、仕事を再開することができる。腰と脳にアプローチする革新的な自己改善法を詳細に解説。

編集委員 (五十音順・敬称略)

委員長 高田 昂 北里大学名誉教授
石渡弘一 神奈川産業保健推進センター所長
小川康恭 独立行政法人労働安全衛生総合研究所理事
加藤隆康 株式会社グッドライフデザイン代表取締役社長
上家利子 独立行政法人労働者健康福祉機構産業保健担当理事

河野啓子 学校法人晩学園四日市看護医療大学学長
椎葉茂樹 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
浜口伝博 ファームアンドブレイン社代表/産業医
東 敏昭 株式会社デンソー北九州製作所 産業医
道永麻里 社団法人日本医師会常任理事